

学習の手引き

1年生

教科	観点の内容	
理科	知識 技能	<p>自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p>
		<p>おもな評価の項目（予定） 各テスト（小テスト、定期考査）、観察、スケッチ、実験レポートの内容、パフォーマンステスト など</p>
	思考力 判断力 表現力	<p>観点の内容 自然の事物・現象から問題を見出し、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。</p>
		<p>おもな評価の項目（予定） 各テスト（小テスト、定期考査）、観察、スケッチ、実験レポートの内容 調査に関する発表、話し合いの内容 など</p>
主体的に学 習に取り組 む態度	<p>観点の内容 自然の事物・事象に進んでかわり、見通しを持ったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	
	<p>おもな評価の項目（予定） 実験レポートや調べ学習などの記述、授業での発言の内容や取り組み ワークに対する取り組み など</p>	
<p>学習の進め方のヒント</p> <p>①日々学習した部分の「ワーク」「Qubena」「教科書の単元末問題」を活用して自分の学習の振り返りをし、学習したことを正しく表現できるようになっているか、また、生活の中で活用されている場面につながられているか考えるようにしましょう。（主に「主体的に学習に取り組む態度」）</p> <p>②復習を中心として学習しましょう。授業の中で学習した内容が、実験や観察で活用できるようにしましょう。日常生活の中にある不思議や理科について考え、学習した内容とつなげることができるとより深い学びになります。（主に「思考・判断・表現」）</p> <p>③科学的な用語については、その意味を説明できるようになりましょう。さらに、実験、観察の進め方や、科学的事象についても、その仕組みや理由を添えて説明できるようになることを目指すと定着しやすくなると思います。（主に「知識・技能」）</p> <p>④授業のグループワークでは、自分の意見を相手に伝えるとともに、相手の意見をしっかり受け止めることを心がけましょう。また、実験や観察では人頼みにせず、まとめるところまで自分一人でもできるようにするつもりで取り組みましょう。</p>		